

ドライアイスの取り扱い・使用上の注意!!

ドライアイスとは

- 炭酸ガスを固化成形したマイナス79°Cの極低温の固体で、周囲からたえず熱を奪いながら直接気化して炭酸ガスになります。(冷凍庫でも保存できないほどの極低温です)

取り扱い

 <p>×直接手でさわらないで下さい。 凍傷になります。 ◎厚手の保護手袋や布・新聞等を使用して下さい。</p>	 <p>×ビンやペットボトルなどの容器に入れ密封しないで下さい。破裂して危険です。 ◎貯載する場合は専用のドライアイスボックスに入れて下さい。</p> <p>気体になると容積は個体の750倍!</p>
 <p>7ゴン内は特に喚起!!</p> <p>×運転手や乗客がいる自動車内に持ち込まないで下さい。 ◎トランクや荷台等、人のいないところや換気十分な換気が得られるところでご使用下さい。</p>	 <p>喚起を心がけて!</p> <p>扉を開けてしばらく作業して下さい</p> <p>「商品を取り出すときに顔を入れたりしないで下さい」</p> <p>×地下室や換気のない場所での使用をしないで下さい。中毒や酸欠になります。炭酸ガスは空気より重いので床に溜まります。 ◎十分な換気が得られるところでご使用ください。停電や故障など冷凍庫のように密閉するものを使用する場合、開閉時には十分換気に気を付けて下さい。</p>
 <p>×ドライアイスで遊んだり、口に入れたりしないで下さい。 ◎子供の手の届かないところに置いて、絶対にさわらせないで下さい。</p>	 <p>ソーダ水等の炭酸飲料は作れません。</p> <p>×食品添加物ではありません。食品や飲料に直接入れないで下さい。 ◎食品には直接入れたりあてたりせず、包装するなどして間接的に冷却して下さい。</p>

ドライアイスの廃棄方法

- 不要となったドライアイスは子供の手の届かない風通しのよいところに放置し、自然消滅(気化)させて下さい。

ほおっておくと無くなるよ!

効果的に使うには

- 冷やしたい物の上に置き、物と物とのすきまを開けると冷気が下に降りて効果的です。
- 新聞紙や布などに包んでおくと昇華(気化)速度が抑えられます。

扱い方に十分気をつけて安全にご使用下さい。

決まりを守れば『手軽で安全』『冷やす力は同じ容積の氷の3倍、同じ重量の氷の2倍』



地域密着、ネットワーク活用の

アイスネット株式会社

〒289-1107 千葉県八街市八街は14-63

TEL.043-308-6401

【URL】 <https://icenet.co.jp/>

【E-mail】 order@icenet.co.jp